

**第1 日時** 令和5年1月23日(月) 午後1時～午後2時30分

**第2 会場** 石巻市役所5階 501会議室

**第3 出席委員** 11名

**第4 会議概要**

**1 開 会**

**2 会長あいさつ**

**3 報告 第1回審議会概要**

会長) ここからは、私のほうで会議を進行してまいります。会議が円滑に進行しますように皆様方のご協力をお願いいたします。

それでは、さっそく次第に沿って会議を進めてまいります。次第3、「報告」につきまして、事務局から説明をお願いします。

**※資料に基づき事務局説明※**

会長) ただ今の事務局の報告につきまして、事務局に確認したいことやご質問がございましたら、挙手をお願いします。

**※※質問等なし**

**4 諮問**

**※※梶原次長から岡野会長へ諮問書手交**

**5 議題**

会長) ただ今、諮問書の提出を受けました。諮問の内容につきましては、議題の中で説明があるということでございます。では、次第5の1、「下水道への接続促進について」、事務局から説明をお願いいたします。

**(1) 下水道への接続促進**

**※※事務局が資料1と資料8を用い説明を行った。**

会長) 諮問の内容につきましてご意見がございましたら、挙手願います。また、ご覧いただいた資料や事務局の説明につきまして、事務局に確認したいことやご質問がございましたら、挙手願います。

委員) 改正案に記載されている件数は年間の目標値という理解でよろしいか。

事務局) はい。

委員) 浄化槽とか汲み取り便所を使用している対象世帯数は、トータル何件なのか。

事務局) 資料1の2ページ、その中に全体の対象となる世帯数、それから既に接続している世帯数があって、赤で未接続の世帯ということで、11,309戸となっています。

委員) これが全部そうなのですか。

事務局) はい。今後も下水道の工事を続けていきますので対象者数は当然増えていきます。

それで、接続していけば赤字が左の3万4千に移って行くということになります。

現状、9月の時点で捉えていくと1万1千となります。

38 委員) 1万1千、これに対して年間平均150入るという。

39 事務局) この補助金で、それくらいを見込んでいきたいということです。説明の中で、接  
40 続阻害要因には幾つかあるという話をしております。下水道事業として、お金の部分の  
41 障害を下げるためにこの補助制度を使ってアプローチしていきたいということでご提  
42 案しています。他にも色々阻害要因として列挙されたものがありますが、それを全て行  
43 政側のアプローチで解決するというのは困難なことで、いずれにしても残っていく部  
44 分として理解しているところです。1万1千が全て補助金で解決できるというもので  
45 はないという認識です。

46 委員) 補助金で解決する百何件、今のところ未接続の1%が年間の目標ということ  
47 ですか。

48 事務局) そうです。現状の実績等踏まえてそのくらいになると見込んでいます。

49 委員) この11,309戸という未接続世帯数は、全て生活実態がある方、例えば下水道  
50 整備したときの戸数のカウントなのか、今になって空き家になっていないのか、その辺  
51 の精査はどうでしょうか。

52 事務局) 若干まだ誤差はあるかもしれないですが、一応色々精査はした上で、実態として  
53 このくらいという把握をさせていただきます。

54 委員) PDCAは、どういうふうに戻していくのですか。ただ、これをホームページ  
55 上に上げて、この制度を使わせてくださいというだけで終わりなのですか。

56 事務局) ホームページで周知するのはもちろんですが、新しく下水道が接続できる  
57 対象になった地域の方に対しては、個別に説明会をしています。その際に、こういった  
58 補助制度もありますよというお話をさせてもらっています。この他にも無利子の融資  
59 のあっせん制度もあるので、そういったことも含めてアナウンスはさせていただいて  
60 います。それから、既に下水道が使える地域になっているけれども何年も経過してまだ  
61 接続されていないという方もいらっしゃいます。コロナ以前は個別に訪問してお話を  
62 させていただいたり、チラシをポスティングしたりしていました。そういったアナウン  
63 スも含めてやっていきたいと考えていました。制度についても、PDCAということでは、  
64 制度の改正後には、3年を目途にこの制度の効果を検証して、必要であれば制度の  
65 見直しも考えています。

66 委員) ネットで調べてみると、色々な自治体で下水道協力員とか戸別訪問、あとシ  
67 ルバー人材センターを利用するとか、水洗化推進嘱託員とか、色々な特化した制度をと  
68 っているところがあるのですが、石巻市はどうなのですか。

69 事務局) 今、佐々木委員がおっしゃったシルバー人材センターにお願いするというこ  
70 については承知していました。今時点ではそこまでやるかどうかという踏み込んだ検  
71 討まではしていません。実際、コロナ前までは、職員が個別訪問をしていたので、も  
72 しその辺のテコ入れが必要だとすれば、今ご紹介いただいたような中身についても検  
73 討していきたいと思えます。

74 委員) 下水道接続指導要綱というのは石巻市にありますか。

75 事務局) 特段ご用意していません。

76 **委員)** 接続指導したり、勧告したりってことをやっている市も八王子市とかあります。  
77 要綱によって促進を図るという手段、その辺はどういう考えでやっているのですか。  
78 **事務局)** 接続阻害要因の中の、高齢化の問題などについて、すべて一律に強めな指導は無  
79 理なのだろうと認識しています。ただ、そういった指針というものが、必要なのでは  
80 ないかと感じましたので、その部分につきましては改めて検討していきたいと思いま  
81 す。  
82 **委員)** 下水をやるようになってから何年くらい経ちますか。40年か50年以上経っ  
83 ているはず。それなのに4万5千だけということですか。  
84 **事務局)** 工事自体は昭和40年代の中頃から46年くらいからやっていると思うのですが、  
85 実際に下水道が使えるようになった地域が出てきたのが、昭和50年代の半ばくらい、  
86 56年なのかなと思います。一斉に広い面積で工事が始まった訳ではなくて、部分的部  
87 分的に工事をして広げています。下水道工事ですので、時間もお金も相当掛かります。  
88 震災後は雨水の方の工事に注力していました。現状としてはこういう数字になってい  
89 ます。  
90 **委員)** 接続しないのが1万1千、接続世帯率75.3%。結構皆さんやってるんだと思って  
91 びっくりしました。汲み取りとそれから浄化槽とまだ単独でやってるところいっぱい  
92 あると思うが、その割にはやってるのかなと思いました。  
93 **事務局)** 供用開始区域の世帯数については、石巻市の9月末、同期の世帯数が6万2千あ  
94 ります。その内の供用開始世帯数が4万5千ですので、普及率という意味合いでは、  
95 73%ということになります。  
96 **委員)** 資料1の2ページの接続世帯率が75.3%ということで、これを増やせばどれだけ  
97 使用料が増えて損益に影響するのですか。接続率が100に近付けるのであればよいの  
98 か。桃生地区、北上地区、の接続率が極端に少ないが、その理由についての分析はあり  
99 ますか。  
100 **事務局)** 北上地区、桃生地区で下水道の接続率が低い理由については様々考えられますが、  
101 その一つとして、下水道の始まった時期の違いが考えられます。下水道の供用開始時期  
102 が早い順で言いますと、石巻地区が昭和56年、河南地区は平成10年、河北地区が平成  
103 12年、牡鹿地区と北上地区が平成14年、桃生地区が平成16年となっております。北  
104 上地区、桃生地区に関しましては、下水道の開始が他と比べて遅いです。これが接続率  
105 の低い原因の一つになっているのではないかと考えております。  
106 **委員)** 接続率が100%であれば問題ないと思うが、例えば90%くらいであれば費用を  
107 使用料でまかなえますか。75%は低いのですか。  
108 **事務局)** 前回お配りした資料の中で、全体の接続率を1%上げた場合どれくらい増えるか  
109 ということで、大体1か月あたりで120万円前後くらい増え、年間で1,500万円くらい  
110 になると計算しています。  
111 **委員)** 今、委員がおっしゃっているのは、費用と収入との、収入は上回る方に行く分  
112 岐点、企業でいう損益分岐点みたいな感じなのでしょうけど、利益、収入がこう出てく  
113 るあたりってどの辺なのですかっていうご質問なんじゃないでしょうか。

114 **事務局)** 接続率が何%になれば、収益が確保できるかということですが、実は使用  
115 料とも関連しておりまして、使用料につきましては、来年度に諮問させていただきたい  
116 と考えております。経費の関係もありまして、使用料、収益の方と支出の関係もありま  
117 すので、いくらになればペイする、何%になればペイするというものとはまたちょっと  
118 話が違います。私たちは、経費を掛けて管を接続しておりますので、少しでも収益が上  
119 がるように接続率につきましては、100%を目指しておりますけれども。それと、下水  
120 道事業としての収益がどうだということはまた別の話になりますので、また来年度に  
121 諮問させていただきたいと考えております。

122 **委員)** 資料の中で、接続しない理由ということで、倉庫用地、駐車場、畑だとなっ  
123 ていますが、うちの地域にも市街化区域で畑に下水管が埋まっている、それが未接続世帯  
124 数に含まれていますか。

125 **事務局)** 東松島の資料をご覧になっておっしゃっていますか。今、我々の方でお示しをさ  
126 せていただいている1万1千という数字の中にはそういったものは含まれていないで  
127 す。あくまで実際に家が既にありますという状態のものです。

128 **委員)** 今日諮問された目的、この資料の未接続による問題点、それでもって、接続を促進  
129 させようという当たり前のことなのですが、片や未接続の理由も、他所の地域の資料を  
130 見ても、主に3つの理由があって、役所側とすれば、融資なり助成なり資金的な援助を  
131 今までやってきたが、それでもってなかなか進まない。今回諮問を受けた内容をいかに  
132 して実効性のある中身にしていくか、場合によっては個々の世帯に対するアプローチ  
133 をどう強力に進めるのか。高齢化の世帯や、特に最近では物価高で、賃金もなかなか上が  
134 らない、そんなところで、この諮問内容の実現性がなかなか苦労されるのではと心配し  
135 ています。個々へのアプローチの考えなんかあれば教えていただきたい。ただ制度変わ  
136 りますよというアプローチなのか、それともなかなか進まない家庭に直接お邪魔して  
137 具体的に相談に乗ってあげる対応をするだとか、そういった具体性のものって何かあ  
138 りますか。

139 **事務局)** 新しく下水道の接続区域になったところは、今までも説明会は必ずしていました。  
140 下水道に接続をしてくださいというお願いをするのですけれども、その際に、今回の新  
141 しい制度、無利子の融資制度とかそういったものをご案内して、もし、経済的な部分  
142 で躊躇されている方がいるのであれば、そういうお知らせをして、いくらかでも接続が  
143 促進するようにしていきたいと思っています。何年も未接続の状態が続いてるとい  
144 う方に対しても、コロナということで控えていた戸別訪問を、状況を見て復活して、新  
145 しい制度も含めてご案内をお願いしていきたいと思っています。広報の方法も  
146 例えば新聞ですとか市報ですとかそういったものでも広くご案内をしていきたいと考  
147 えておりました。

148 **委員)** 改造資金の融資あっせんの償還期限、据置期間とかあるのですか。それから  
149 償還期限が何年なのか。場合によってはそれに延長かけるとか、そういったことを考え  
150 ておられないかどうか。

151 **事務局)** 融資あっせん制度の件について、今の要項ですと、償還期間は3年から5年とい

152 うことで規定されております。

153 **委員)** それの延長は考えてないですね。例えば10年にするとか。

154 **事務局)** そうですね。3年から5年で100万円が上限ということで今まで用意させていた

155 だいておまして、それを伸ばすというのは今まで検討したことがありませんでした。

156 **委員)** 汲み取り式から下水にすると100万円以上になる。浄化槽から接続すると

157 50万円くらい。この前、うちの老人クラブで市の講座を使って勉強したのですが、分

158 かりやすかった。そういうのも利用するとか、市報を利用するとか、説明が必要です。

159 年だから今からお金掛けたくないっていう方が多かったです。浄化槽の方はすぐでし

160 ょうけど、汲み取り式は難しいのかなと。

161 **会長)** ご質問ということではなくて。

162 **委員)** はい。

163 **委員)** 限られた人数の中、説明会等やっているようですが、桃生地区、北上地区、あるい

164 は地区ごとに説明会をやるなりして接続者の嵩上げをしていくという形の方策はあり

165 ますか。

166 **事務局)** その地域が下水道を使えるようになったときは、必ずその地域の方に向けて説

167 明会を一度は必ずしています。それでも残る方々がいらっしゃるので、従前は、訪問や

168 ポスティングをしていました。ただ、コロナという状況もありましたので訪問するとい

169 うことは控えていたところです。今後は状況を見ながら再開をしていきたいと思いま

170 す。それから、今まで媒体を使ってアナウンスはしていなかったもので、例えば新聞広告

171 を使って皆さんの目に留まるような形でアナウンスをしていきたいと考えております。

172 **委員)** 北上の数字が少ないような感じがします。震災後見直しをしているのですか。

173 北上町の場合、地域的に下水道にできないので、最初から合併浄化槽という地区も大分

174 あります。被災した地域、特に月浜南部、追波から白浜は下水道地域だが、震災で家が

175 ほとんどなくなり1割くらいしか残っていません。月浜団地と白浜団地については、合

176 併浄化槽に変わりました。にっこり地区は全部下水道。吉浜は合併浄化槽、女川、本地

177 地区が合併浄化槽のはず。供用開始の戸数も少なく、接続してないところで206戸、こ

178 んなにあるのかなと。

179 **事務局)** 北上地区については、市町村設置型で浄化槽整備している部分が大きく、その部

180 分で実際に水洗化されているご家庭は多いのではないかとということになります。その

181 部分も合わせて考えれば感覚的に水洗化されている割合というのは非常に高くなって

182 くるのだらうと思います。震災前と後の計画がどのように変わったかという部分なの

183 ですけども、今そこまで把握はしていませんでしたので、もしよろしければ次回まで

184 に確認をしてご報告させていただければと思います。

185 **委員)** 206戸っていうのは、ほぼ橋浦地区だと思えます。本当にこんなにあるのか

186 なという感じがします。

187 **委員)** 資料1の2ページ、未接続世帯数11,309戸あります。資料8の2枚目、ここ

188 に未接続者の類型というのがあり、それに対応して課題と対策が違っているという表

189 がある。石巻の11,309戸の中でも色々な類型があると思うが、この中身については石

190 巻の方では把握しています。

191 **会長)** 申し訳ないですが、会長の立場で質問させていただきます。石巻市はアンケー  
192 ト調査をしていないということですが、これだけのお話が出てきた中で、各地区におい  
193 て大分、温度差や違いが見えてきているように思います。まず諮問を受ける前にそうい  
194 ったアンケートをして材料を揃えるべきでは。それで東松島市と比較し、石巻市は非常  
195 に地区が多く分かれて点在していて温度差があるとか、そこに住んでいる人達の経済  
196 状況であったり、様々な違いがそのアンケートを通して見えてくるのではないかと思  
197 います。それを受けての今日の審議であれば、合理的に話が進むのではないかと思  
198 いますが、田村委員と私のご質問をさせていただきました。

199 **事務局)** 我々の方では独自の調査はしていません。他の団体のアンケート調査にも目を通  
200 し、市域面積、人口、人口密度、それぞれの市町村の条件が色々異なっている、回答  
201 のボリュームゾーンになっているところは、総じて同じような状況になっていると見  
202 受けられました。そういったボリュームゾーンになっているところは日本中で同じよ  
203 うにボリュームゾーンになっていると感じています。コロナ前に行っていた個別訪問  
204 では、接続しないことについて、他の団体のアンケート結果と同じような傾向がありま  
205 した。我々として対応可能な部分で対策をしていこうということで今回、お金の面での  
206 補助制度ということで見直しをしたいということをご提案させていただいています。

207 **委員)** 数字としてはおさえていないということですか。

208 **事務局)** おさえていません。

209 **委員)** それぞれ理由が違って、対策の方法も違っていると思いますので、どこか  
210 ら手を付けていけばいいのか優先的などころも見えてくるのではないのかなという意  
211 図があります。

212 **委員)** 総務省の未接続者の類型とその課題と対策ということで、1から6まで分けて  
213 いるこの分け方で石巻市も分けてみたらいいのかなと思う。分類をしたものがありま  
214 すか。石巻市は、地区ごとにこういったことを調べて分類することは全くしてないとい  
215 うことですか。

216 **事務局)** そうです。この人はどんな分類に該当するという分類はしていません。

217 **委員)** 各地区で抱えている問題はそれぞれ違うかもしれない。未接続者の問題点、類  
218 型をきちんと把握して、それに対してどれだけの補助金を与えていくかということ  
219 を精査しないうちに、他の市がこうだ、こういうアンケートで出ているから、では石巻も  
220 こうしましょうということでやるのは拙速なのではないかなと、もう少し地区ごと、年  
221 齢ごととか、様々な分類のアンケートをして、実態調査をやった方が諮問の内容に即し  
222 てるのではないかなと考えました。

223 **事務局)** はい、わかりました。

224 **会長)** あと、早くやらなければならない人を優先順位として上げていくということ。  
225 一律にというと非常に難しいと思う。数も多いので。どこからどう手を付けていくか  
226 というのが、ひとつの解決策として。公衆衛生の向上であるとか、都市の健全とか、そ  
227 れから、もう一つ、仙台市なんかですと、コロナの陽性者を発見するとかのデータとし

228 て下水道を利用しているということもあります。そういったことから下水道の整備  
229 というのは必要なのだと思いますので、是非この諮問書に書いてあります目的を達  
230 成するために一番いい方法はどちらがいいのか、優先順位を付けるのか、地区別で  
231 やるのか、補助金額をどちらがいいのかというのは、もうちょっと議論をバラバラで  
232 はなくて、ちょっと議論をしたらいいと思います。委員の皆さんの意見を拝聴しており  
233 まして、それをまとめ上げるとそういうようなことになるのかなと感じております。回  
234 答は結構でございます。

235 **会長)** 他にございますか。委員の皆様から沢山の意見を頂戴いたしまして、出尽くし  
236 ているかなという感じはしてはいるのですが、他にありますでしょうか。

237 **委員)** これまで接続した区域の世帯に対して色々ご意見を頂戴しました。今後の下水  
238 道の整備で未接続者世帯を増やさないための方策として、下水道整備を行うというど  
239 きに、関係世帯を集めて事前説明をする、そして、整備前に事前に下水道供用開始に  
240 なったら、接続するか、公共枿をどの辺に付けてほしいかというような話を進める。そ  
241 して、例えば 20 世帯あってその内の 15 世帯が接続希望したという場合に、その工事  
242 の実施判断というのが出てくる。例えば 2 分の 1 の世帯が接続を希望していない場合  
243 に、大金を掛けて下水道工事を進めると、また未接続世帯が増えてくる。その事業の実  
244 施の判断、その辺で市の財源の重点配分と言いますかそういうものも考えていたら  
245 将来のために未接続世帯の解消につながらないかということも意見として発言させてい  
246 いただきました。

247 **会長)** ありがとうございます。回答は必要ないですか。

248 **委員)** はい。

249 **会長)** 他にございますでしょうか。では、無いようですので。続いて次 5 の 2、『そ  
250 の他』について、事務局から説明をお願いします。

## 251 (2) その他

252 **事務局)** 今後のことについてお話をさせていただきたいと思います。本日、ご議論いた  
253 だいて、会長はじめ皆様からご意見を頂戴しました。本来想定していたところだと、諮  
254 問をさせていただいて、それについて是非をご検討いただいて答申書という形で次回  
255 やあるいは次々回でご検討いただくという予定にしていたところでございますが、今  
256 回色々ご意見を頂戴しましたので、その辺も含めて一旦我々の方でまとめさせていただ  
257 いて、次回ご報告をさせていただくことにさせていただければと思います。よろしい  
258 でしょうか。

259 **会長)** ただいまの事務局の説明について、事務局に確認したいことや御質問がござい  
260 ましたら、挙手をお願いします。

261 **会長)** その他、ご意見はないですか。全体を通して。

262 **委員)** 改正案については、できるだけ早い時期に住民の皆さんに利用していただくよ  
263 う早い施行期日がいいだろうと思います。この改正案の適用時期と申しますか、当然議  
264 会とか何かの方の審議を経ての公布といったことになると申しますので、来年の 4 月  
265 考えているのですか。今年の 4 月考えているのですか。いつ頃の施行を考えておられる

266 のでしょうか。

267 **事務局**) 元々の予定ですと、今年度ご協議いただいて、令和6年の4月以降にできればな  
268 と思っていたのですが、令和5年の間に予算の確保をして、令和6年でという予定で考  
269 えていたところでした。

270 **会長**) 他にはございますか。なければ、本日の議事は、これで終了といたします。委  
271 員の皆様のご協力、ありがとうございました。

272 **6 閉会**